

## 世界の気象機関職員 6 名が 日本の知見を学びに来日

国際協力機構 東京センター（JICA東京）では、世界でも先進的な気象機関の一つである気象庁の協力のもと、2018年9月27日より約10週間、世界6カ国より6名の若手気象機関職員を日本に招き、「気象業務能力向上」研修を実施しています。

本研修では、気象観測・衛星画像解析・数値予報モデルを含む短期・長期予報及びこれらを活用した防災気象情報作成手法の取得を通し、途上国の気象業務能力向上及び防災能力強化を目指しています。

今回、以下の日程で北海道札幌市を訪問し、予報業務許可事業者でもある報道機関の見学を行う予定です。防災上重要である報道機関の役割等について学ぶ良い機会になると思いますので、ぜひ取材・報道をご検討ください。

なお、取材いただける場合は、お手数ですが、**11月22日（木）までに下記問い合わせ先まで事前連絡をお願いいたします。**



本研修で気象観測船を見学

### <取材可能な日程>

日時	内容	場所
11月26日（月）10:00～12:00	気象予報・防災上の報道機関の役割（見学）	北海道放送（HBC）ウェザーセンター

### <ご参考>

- 研修コース名 : JICA 東京 課題別研修「気象業務能力向上」
- 全体研修期間 : 2018年9月27日（月）～12月7日（金）
- 研修員 : 6名（バングラデシュ、フィジー、パキスタン、フィリピン、スリランカ、タイ）
- その他 : 当日は研修監理員が同行し、通訳（英語－日本語）を行います。

### 【本件に関する お問い合わせ先】

JICA 東京 経済基盤開発・環境課（担当：有働）

TEL 03-3485-7652 e-mail : [tictip@jica.go.jp](mailto:tictip@jica.go.jp) / [Udo.Atsumo@jica.go.jp](mailto:Udo.Atsumo@jica.go.jp)